

部会だより(電気電子情報工学部会)



2015年度 関東学院大学 工学部 電気電子情報工学科 卒業祝賀会
於 神奈川県民ホール「英一番館」

電気電子情報工学部会々報

<http://www.kgudenki.jp>

No. 38

発行責任者
山川 和夫



部会長就任のご挨拶

会長 山川 和夫
(電気77年度卒)



2016年6月18日に開催されました「2016年度電気電子情報工学部会評議員会」において、新会長に選出されました1977年度(昭和52年度)卒、電気25回生の山川です。還暦を迎えた60歳で、微力ではありますが電気電子情報工学部会会長として部会の発展と会員の皆様の期待にお応えできよう誠心誠意努力する所存です。会員の皆様、関係者の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

さて、母校関東学院大学は、私が在学していた38年前とは大きく異なり、現在10学部を擁する総合大学に大きく変貌をとげ、私たちの卒業した工学部 電気工学科は、理工学部理工学科電気学系に引き継がれ、「電気・電子コース」と「健

康・スポーツ計測コース」の2コースで後輩の学生諸君が日々研鑽をつんでおります。電気分野は、かつて、弱電、強電と大別出来たひと昔前とは大きく異なり、コンピュータ、インターネット、携帯電話、デジタル機器等の普及により、その役割も大きく変わってきております。特に年配の会員の皆様は、日々の生活、仕事の進め方等が大きく変わったと感じておられることと思います。

私自身も母校卒業以来電子部品メーカーに38年勤務し、今年1月定年を迎えましたが、業界も仕事の進め方も入社当初とは想像もつかないほど変わったと感じております。

私共卒業生が青春の一時期を過ごした母校、社会は大きく変わりましたが、部会は、歴代学科長、学系長の先生と密接なコミュニケーションをとりながら、特に、在校生の向学心向上、就職支援等に繋がる活動を歴代会長中心に活動を行ってきました。具体的には、毎年3月の卒業祝賀会における研究発表に対する表彰、1月の大学先生方との年頭の賀詞交歓会を展された在校生を対象とした企業説明会の開催であります。

研究発表に対する表彰について

は、大学の博士課程の充実と相まって、博士号取得者を輩出することで少なからず寄与出来ていると判断しております。就職支援については、まだ開催回数は少ないですが、参加企業数の増加、懇親会の盛り上がり等、同じく成果が上がってきていると感じております。

部会幹事会は、上は卒業が昭和30年代の大先輩から、下は平成20年代卒業の幅広い年代の幹事で支えられており、より充実した同窓会活動を日々目指しております。

今回、会長職をお引き受けするにあたり、部会報の創刊号(1984年(昭和59年)10月発行)から最新号まで久しぶりに読んで見ました。その時々の活動の熱気が感じられ、また忘れてならないことなど再認識させていただきました。改めて同窓会活動に尽力されてきた歴代会長、役員の方々のご協力いただいた会員の皆様に敬意を表したいと思います。

岡田前会長には、2006年(平成18年)から10年間会長職をお引き受けいただき、現在に繋がる基盤を築いていただきました。その下で、幹事長、副会長として経験させていただいたことを糧として、会員の皆様に興味を持って頂ける情報の発信、企画を心掛け今後の同窓会活動を進めていきたいと思っております。更なるご支援ご協力をお願い申し上げますと共に、会員皆様のご健勝と益々のご発展ご活躍を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

理工学部 理工学科電気学系の 近況について

電気学系長 簗 弘幸

卒業生の皆様、ご無沙汰致しております。一昨年度より理工学部理工学科電気学系の世話役を仰せつかっております、簗弘幸と申します。誠に不慣れ且つ非力ながら、皆様のご支援、ご協力により、これまで2年間無事に業務を遂行させていただくことができたこと、厚くお礼申し上げます。本年度も、皆様の母校をより発展させるため、精進してまいりたいと考えております。

さて、恒例ですが、学系の近況をお知らせいたしたく存じます。2016年度4月の段階で電気学系の学部生入学者数につきましては、電気・電子コース34名(定員48名)、健康・スポーツ計測コース25名(定員20名)、計59名であり、2年生から4年生の在籍数207名を加えて、電気学系の在籍者総数は、266名となりました。また、そのほかに工学部電気電子情報工学科の学生が17名在籍しております。一方、大学院工学研究科電気工学専攻への入学者数は、博士前期課程2名であり、前期課程の在籍者総数は3名、後期課程は2名となりました。なお、2015年度には、博士(工学)の学位

を取得した博士後期課程修了者、佐々木正哉君(宮崎研)を輩出致しました。

工学部が2015年度末を以ってその役割を概ね終えたため、助手の竹村進先生が数物学系へ配置換えとなりました。しかしながら、竹村先生はこれまでハイ

テクリサーチセンターでの研究プロジェクトに参加されており、これまでの経緯から、引き続きオープンキャンパスや学外からの訪問者に対しての見学などにご対応いただくこととなっております。その他の教員の異動などがございます。

電気学系は、現代社会のインフラの一端を担っている電気電子分野、そして超高齢化時代の到来に備えた健康・医療機器や健康増進のためのスポーツ科学分野、及び関連教育を行っております。次の世代の若人らが、キリスト教教育を礎に、電気・電子分野、健康・スポーツ計測分野は勿論、理工学部の他の分野の知識を横断的に学び、専門分野の境界に囚われない幅広い教養と知識を修得して、社会にとび立てるよう、教職員一同尽力いたしております。数年前に1号館裏の侍従川側の歩道に桜の木が植えられ、今年も入学生を迎えるタイミングで綺麗に咲いており



ました。その写真(2016年4月撮影)をご覧になって母校を思い出していたいただきたく存じます。改めまして、今後とも、卒業生の皆様からの厚いご支援とご協力をお願い申し上げます。次第でございます。末筆ながら、皆様の益々のご健勝、ご活躍を祈念して、ご挨拶にかえさせていただきます。

「企業と大学との 交流会(賀詞交歓会)」 について

副幹事長 波多江修治
(電気77年度卒)

今年の「企業と大学との交流会(賀詞交歓会)」は、1月22日(金) 関東学院大学 横浜・金沢八景キャンパス構内で開催致しました。この交流会も一

昨年より後輩現役学生の就職支援を部会がお手伝い出来ないかとのOBの声を受け、大学の先生方、電気電子情報工学部会(OB)と学生の交流を主旨としていた賀詞交歓会を「企業と大学との交流会」としてOB関連企業各社様のご協力を頂き大学と部会共催で就職支援を主旨として企画開催し今年3回目となりました。

「企業と大学との交流会(賀詞交歓会)」は、2部構成で1部は5号館101ホールでOB関連企業13社と昨年より2社多い企業様に参加頂き時間も延長しての説明会となりました。2部は場所を代え2号館教職員ホールで学生・企業・学校の先生方・サポートクラブの皆様・部会OBとの直接コミュニケーションができる懇親会の場を昨年同様設けました。約40名の学生の皆さん・多くの先生方・関係者の皆様にもご参加頂き盛況のうち予定の約4時間を無事終了致しました。このような形での開催内容は、各企業人事担当の皆様からは今回も好評で次回も是非参加したいとの声も多く聞かれ、学生の皆さんにも好評でしたので、来年も引き続き就職支援での開催を継続して行きたいと思っております。今後、各関係の皆様からご意見を頂戴し「企業と大学との交流会(賀詞交歓会)」をより良いものにしてまいりたいと考えております。最後になりますが、開催に当たりご尽力・ご協力頂きました皆様にこの誌上をお借りしてお礼申し上げます。

追悼文

松本先生を偲んで

電気工学科卒業生

石渡 勲(電気'84年度卒)

松本研究室の卒業生の一人として松本先生への追悼文を書かせていただきます。

松本先生が他界されたのを知ったのは、昨年末か、今年初めに学生会の先輩からのご連絡でした。3年ほど前に開催された5学年合同同期会の懇親会で松本先生にお会いしたのが大学卒業以来で、最後になってしまいました。先生はさすがにお年を召した感じではありましたが、しゃきつとしており、一緒に杯を交わしながら、お話をさせていただききました。長い間、たくさんの学生と接してこられた先生ですから、30年近く前の学生の顔・名前までを一人一人覚えてはいらつしやらなかつたとは思いますが、楽しそうにお話しただいたのを覚えております。

初めて先生にお会いしたのは、大学3年の電子回路の授業だったと思います。3年時に電子回路一、二、4年時に三、四を講義していただいたと記憶しています。正直なところ授業の内容

などは殆ど覚えていません。先生は、ニコニコしながら、ゆつくりと丁寧に講義していただいていたと思います。鮮明に記憶しているのは、4年時の前期試験で電子回路が追試になったこととです。当時、かなり焦りましたが、何とか再試験で合格点をいただきました。卒業研究では、当時人気の高かった松本研究室に入ることができ、卒業までを松本先生にご指導いただきまし

た。私たちは、当時、完成間もない新しい研究棟の中で、あまり研究されていなかった音声認識技術の研究を松本先生の指導のもと、夜遅くまで実験・論文作成を行いました。社会に出てから、卒業研究の内容を生かすことはあまりありませんでしたが、松本先生から教えられた、広い視野を持って、チャレンジする精神を忘れずにやってきました。

松本先生ありがとうございました。大学でのわずか2年間での教えでしたが、その2年間がとても貴重で有意義な年月だったと思います。また、お会いできることを楽しみにしております。心からのご冥福をお祈り申し上げます。

去る、昨年11月に電気電子工学科教授で在られた松本茂樹先生がご逝去されました。ここに謹んでご冥福を申し上げます。

松本先生の思い出

鳴島 浩司(電気'82年度卒)

私は、松本先生から数多に余るほど薫陶を賜り、現在の社会人生活を送らせて頂いております。今回、電気電子情報工学部会から執筆の機会を頂き、誠に僭越ですが私と松本先生の思い出を回想させて頂きます。

私と松本先生との出会いは、大学入学直後のSPCキャンプ(今で言う合宿オリエンテーション)に参加し、各グループに分かれての教授との座談会が最初でした。その時の先生のお言葉は、「電子技術は両刃の剣であり、社会に活かすも殺すも技術者次第」と仰っていました。当時の私は、正直良

く理解が出来なかつたのですが、現在では世界的な情報インフラの発展の半面、セキュリティ攻撃などの脅威が正に先生の仰っていたことが現実となっております。

私は電気工学科学生会に籍を置き、学生間の親睦や福利厚生などの企画担当をさせて頂きました。福利厚生に関しては学校側へ色々な環境改善の申し

入れなどを行うのですが、その時の学校側のご対応が松本先生でした。私共からの理不尽な要求や失礼な物言いも有ったかと思えますが、先生は真摯に聞き入れて頂き、また提案へのアドバースまで行って頂きました。その時、何故先生は私共学生の目線で接して頂いたのが大変不思議でしたが、後から先輩から「先生は電気工学科第一期生」であることを教えて頂き、私共をKGUの後輩として我が子のように温かい眼差しで接して頂いたのと深く感謝した次第でした。

その後、卒論のご指導、就職先のご紹介、伴侶との仲人をお引き受け頂き、今の私の人生の礎を築いて頂いたと言っても過言ではありません。

昨今では、電気電子情報工学部会賀詞交歓会や同期会での元気なお姿を拝見させて頂いておりますが、今回の突然の訃報にて先生には御礼を申し上げることが出来なかつたことが悔やまれてなりません。

その様な折、松本先生のご家族のご厚意により、後日、電気電子情報工学部会山川さん始め、9回生同期会の方々に先生のご法要の案内を頂き、松本先生の墓前にて遅ればせながら御礼を申し上げます。

これからも先生のご指導を活かし、そして若い世代に伝承することによって社会に貢献が出来る様に努めさせて頂きます。

部会だより(電気電子情報工学部会)



2012年3月24日 電気電子情報工学科
卒業祝賀会にて



2010年11月13日 電気電子情報工学科
設立60周年記念祝賀会にて

長年部会のためにご尽力いただき
きました、工学部電気工学科1回
卒であり、大学で教授として教鞭
をとられました
松本 茂樹 先生(電気1回)
が2015年11月24日に85歳でご
逝去されました。
ここに謹んで哀悼の意を表すと
ともにご冥福をお祈りいたします。



2013年11月9日 電気電子情報工学部会総会
5学年合同同期会にて

新卒業生の声

工学研究科 電気工学専攻

関谷 愛斗

私が学部時代に取り組んできたこと
といたしまして、勉学とスポーツの両
立があります。

勉学に関しては、電気主任技術者や
無線従事士の資格に関連した授業を
できるだけ多く履修し、電気工学の専門
知識以外にも情報工学に関する知識も
習得するように努めてまいりました。

また、4年次の卒業研究として、聴覚
の神経に障害のある人に対して電気刺
激を与える埋め込み式医療機器の性能
改善を目的とした、「神経補綴」と呼
ばれるものに関して情報伝送の切り口
で考察する研究を行い、大学の卒業研
究発表会にて発表させていただきまし
た。大学の発表会以外にも、日本生体
医工学会、電気学会といった学会にお
いて自分の卒業研究についての発表を
日本語、英語で行うといった経験もさ
せていただきました。

スポーツに関しては、大学の水泳部
に所属し、出場する大会ごとに自己ベ
ストタイムを少しずつではありますが
確実に更新していくなど、とても充実

した大学生生活でありました。

今現在取り組んでいることといたし
まして、修士論文発表に向けて、卒業
研究時の改善点を補っていきながら、
その延長としてより詳しくミクロな視
点から研究を進めていこうと尽力して
おります。また、今年の夏には、アメ
リカの国際学会においてポスター講演
という形で発表させていただく機会を
いただき、今まさにその準備を行って
いるところでございます。さらに、自
分の将来の幅を広げるために、英語や
情報処理技術者の資格取得や、研究を
進めていく中で学部時代に習得しきれ
ていなかった基礎知識があると分かっ
た場合にはその穴埋めをし、より理解
を深めるようにするといったような自
主学習を行うなど、自分の専門知識や
応用力をより高めていくようにも心が
けながら大学院生活を過ごしております。
す。

卒業後の進路といたしまして、今の
ところは就職を考えております。職種
としては医療機器メーカーや、情報通
信を扱うようなところに進んで行こう
と考えており、修士にふさわしい専門
性とグローバルな思考をもって、社会
に貢献してこうという次第であります。

部会だより(電気電子情報工学部会)

部会名変更について

幹事長 一杉 和良

(電気'96年度卒)

電気電子情報工学部会は、関東学院大学工学部電気工学科の卒業生の同窓会が始まりであり、その後、学科名が電気・電子工学科、電気電子情報工学科と変わっていき、学科名に合わせて部会名も、電気・電子工学部会、電気電子情報工学部会と変えていきました。

大学の改組により工学部は理工学部理工学科に変わり、理工学部理工学科は12コースに分かれています。以前の電気電子情報工学科に含まれるコースとしては、電気学系電気・電子コース、健康・スポーツ計測コースの2コースとなります。電気電子情報工学部会は大学の現在のコース制、並びにこれからの改組にも対応できるように、学系長を交えながら部会名の変更を検討しました。

検討の結果を2016年6月18日の評議員会に報告し、評議員会での議論の結果、部会名を、

でんき部会

と変更することとなりました。新しい部会名の下での活動は燦葉会会則の変更の後、理工学部理工学科電気学系の最初の卒業生を新会員と迎える2017年3月24日の卒業祝賀会より行うこととなります。部会の名称は変わりますが、今後ともご支援ご協力をお願い致します。

2015年度の年会費・E&C育成基金納入についてのお礼

会計幹事 小川 博芳 (電気'77年度卒)

田中 高洋 (電気'99年度卒)

同窓生の皆様お元気ですか、6月18日にKGU関内メディアセンターM-806にて評議員会が開催され、2015年度の事業及び収支決算、2016年度の事業計画、予

算案が可決承認されました。年会費は144名、E&C育成基金は39名(73口)から納入頂きました。誠に有難う御座いました。

2011年3月11日の東日本大震災、原発事故とその爪跡は今も残り、本年4月に発生した熊本地震の一日でも早く復旧、復興を願います。世界の情勢も不安定で、このような時期だからこそ、「人と人との支えあい」を大切にしたい社会構造が求められると思います。2016年度は震災後の復興に向けて更なる日本全体が一致団結がんばる年です。

でんき部会としても、大学、同窓会、在校生が一丸となる活動を実施すべく皆様の積極的な活動参加に期待しております。活動については部会のホームページをご覧ください。2016年度も引き続き在校生の論文・研究発表に奨励賞として図書カードの贈呈を致します。論文奨励賞、研究発表奨励賞は在校生の励みとなり、また同窓会との相互の親睦が図れることで継続を強く推進したいと思っております。近年は同窓会の活動に在校生の学生会から積極的に参加をしてくれまますので、先生、在校生と同窓生等相互の親睦が計られ充実してきたと思っております。

また、近年は小子化、経済状況等により受験生の減少、卒業生の就職難も聞かえております。1月の賀詞交歓会時には在校生との懇談に期待し、皆様のご協力の程よろしくお願いいたします。同窓生の皆様には、年会費、E&C育成基金納入に対し、お礼を申し上げますと共に、これからも同窓会活動にご協力の程お願いいたします。

なお、年会費、基金納入者氏名を別刷りに掲載させて頂きました。年会費 2,000円
郵便振込口座番号 0025013122193
加入者名

1. 同封の払込取扱票により郵便局にて年会費の納入には次の方法でお願いいたします。
2. OB会の各イベント開催時、現地に於いて現金納入を戴く方法。

ホームページだより



ホームページ担当幹事 佐々木正哉

(情ネ'07年度卒)
電博前'09年度修了
電博後'15年度修了

燦葉会電気電子情報工学部会HP担当幹事を拝命しております情ネ1回生佐々木と申します。お世話になっております。

現在電気電子情報工学部会HPでは、部会関係の行事に関する情報などを中心に掲載しております。また部会の行事に関するご案内なども掲載しておりますので、定期的にご覧いただき、多くの皆様に部会活動への参加をしていただければと考えております。

部会HP <http://www.kgudenki.jp/>

今年度は、大学における改組などによる変化、それに伴う部会の変化などが進むことが考えられます。そこで部会HPでは、現在の大学・電気学系(旧電気電子情報工学科)の状況や現役生の活動状況などについても掲載し、卒業生の皆様に大学・学系について知ってもらい、卒業生の皆様へ関心を持っていただけるようにしていきたいと考えております。またHPでは、電気工学科から始まり現在の電気学系までの歴史を調べられる企画など、多くの方々に部会HPを見ていただける内容を目指しております。

最後になりましたが、HPなどでは部会の活動だけでなく、会員の皆様からの記事も掲載いたしますので、掲載してほしい情報や記事がございましたら、次のメールアドレスまでご連絡下さい。今後とも皆様の同窓会活動へのご協力のほど、よろしく御願致します。
メールアドレス kanri@kgudenki.jp

行事案内

2016年度総会開催のご案内

本年度の燦葉会電気電子情報工学部会の総会は、「関東学院大学燦葉会ホームカミングデー」に合わせて行う予定です。

日にち…2016年10月29日(土)
会場…横浜・金沢八景キャンパス
会員のみなならず学生の参加もお待ちしております。

2017年賀詞交歓会のご案内

就職活動を行う学生への支援の場として、OB関連企業各社様のご協力を頂き大学と部会共催で「企業と学校との交流会」(賀詞交歓会)を、3年間開催致しました。好評につき、今年度も継続して行きます。

日にち…2017年1月(予定)
会場…横浜・金沢八景キャンパス

2016年度卒業祝賀会開催のお知らせ

恒例となりました、学系、学生会、部会の共催による卒業祝賀会を左記の通り開催いたします。年度末の平日の行事になりますが、部会として新入会員としての歓迎会も兼ねておりますのでOB・OG各位の積極的な参加をお願い致します。

日時…2017年3月24日(金)16時~19時
会場…神奈川県民ホール「英一番館」(予定)

各行事の詳細は決まり次第、部会のホームページ <http://kgudenki.jp> に掲載いたしますので、そちらを参照して下さい。